



授業形態	自校	他校	巡回
	個別指導		グループ指導

実態：中学生 ・気持ちのコントロールが難しい。 ・暗黙の了解や常識が分からない。 ・自分の気持ちを言葉で表現することが難しい。 ・友だちの話の輪に入ることができない。	長期目標 ・自己理解を深める。 ・「聞く力」や「言葉で表現する力」を高める。 ・集団への所属感や連帯感を高める。 ・自立に必要なライフスキルを身に付ける。
--	--

通級での指導・支援

話す「きっかけ」になるように

- ・アイスブレイク
- ・カードゲーム
〔ごきぶりポーカー〕〔DiXit ディクシット〕
- ・卓球 ・ストラックアウト

自立に必要なライフスキルを身に付けるために

- ・『SST ワークシート』
生徒自身が後で確認できるようにする。
- ・ロールプレイ
「役割を演じる」ことで、話すタイミングや状況にあった適切な対応を学べるようにする。

気持ちを言葉で表現できるように

- ・1分間スピーチ
毎回SSTの振り返りをする。

お楽しみ行事として

- ・「七夕」の会 ・「飛鳥鍋」の会
- ・「オルゴナイト」の製作 (PTAバザーで展示)



ごきぶりポーカー



DiXit ディクシット



SST ワークシート

通常の学級での指導・支援

- ・本人は状況を言葉で説明することは難しいため、得意な絵で説明させている。対応の仕方については具体的に伝える。
- ・□答指示だけではなく、後で確認できるようにメモを書く等、視覚支援を行う。
- ・質問するときには選択肢を与え、自分の意思で決められるようにする。
- ・パニックを起こした時の対応を本人と話し、決まった場所でフールドウンするようにする。

通級での変容

- * 相手の話を聞くときに相槌を打つようになり、相手の目を見て話することができるようになった。
- * パニックの回数が減り、ゲームで負けても暴言を吐くことなく、ゲームを楽しむことができるようになった。
- * 問題が起こり、どう対応すれば良いか分からないときは、すぐに質問するようになった。
- * SSTのメンバーの誰かが悩んでいるときには通級指導教室に集まり、話し合いをする等、仲間同士助け合いができるようになった。
- * 進路に向けて、積極的に考えるようになった。

通常の学級での変容

- * 毎日登校できるようになった。
- * 通常の学級担任に「学校生活が楽しくなってきた」と、笑顔で話すようになった。
- * 進学時、「個別の教育支援計画」を提出する際、高校の先生方に直接自分の「困り感」を伝えることができた。



授業形態	自校	他校	巡回
	個別指導		グループ指導

<p>実態:小学生</p> <ul style="list-style-type: none"> ・聴覚活用ができる軽度中等度の児童や重度で人工内耳を使っている児童。 ・指文字や手話が必要な子どもがいる。 	<p>長期目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「難聴理解かるた」を用いて場面や状況を考えて、自己認識を深める。 ・「難聴理解かるた」の体験談から経験や感想を伝えることができる。 ・難聴の共通点や違いに気づき、コミュニケーションをとるのにどうすればよいかを考える。
---	--

<p>通級での指導・支援</p> <p>難聴児の自己認識を高めるために</p> <p>「きこえなかま集会」(週1回実施)</p> <p>○ 「難聴理解かるた」を使い、自己認識を高める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・かるたを通して場面や状況を考える。 ・読み札の体験談から同じ経験を探したり、そのときの気持ち等を伝え合ったりする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>その①</p> <p>「先生から野外活動の説明があり、班に分かれて話し合いが始まった時、班の友だちが同時に話し始めたので分からなくなり、とっても困った。それで、ロジャーを使って話して欲しいと言ったら、ロジャーを使ってくれたので、分かりやすくなり、野外活動も楽しみになった。」</p> <p>その②</p> <p>「ロジャーを使うと周りの音も一緒に入ってしまうので、みんなが同時に喋ると分からない時がある。そういう時は必ず友だちが『きこえる?』ときいてくれるので、ありがと思う。」</p> <p>アドバイス</p> <p>「きこえないときは、みんなに『周りもうるさいから同時に言われると分からない。だから一人ずつ言ってくれる?』と言ったことがあるよ。」</p> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;"> <p>絵札 表・裏(指文字)</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>難聴理解かるた</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>読み札 表・裏(体験談)</p> </div> </div> <p>※ 「難聴理解かるた」について</p> <p>難聴の子どもと関わりのある教員、同級生、保護者の方々に、「きこえない、きこえにくい」とはどういうことなのかを知ってほしいと、当事者が作成したかるたです。難聴の子どもたちが学校・家庭生活においてどんなことに困り、どんなことに不安を感じているのかは、あまり知られていません。</p>	<p>通常の学級での指導・支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1学期に全校放送できこえの教室の子どもたちが、障害理解について放送を行う。 <ul style="list-style-type: none"> 〔きこえの教室の秘密 <ul style="list-style-type: none"> ・一人一人のきこえ方の違い ・補聴器の仕組み(得意なこと、苦手なこと) ・人工内耳の仕組み ・ロジャー(ワイヤレス補聴システム)の使い方 〔顔を見て話してほしいこと ・3学期には、学級で一人一人発表する。 <ul style="list-style-type: none"> 〔補聴器体験 <ul style="list-style-type: none"> ・人工内耳の仕組み ・難聴体験 ・コミュニケーションをとるには等
<p>通級での変容</p> <ul style="list-style-type: none"> * 伝える方法がいろいろあることを知ることができた。 * 自分の最善の方法で情報を得ることができるようになり、その方法で依頼してよいことを理解できるようになった。 * 友だちなどにしてもらったことに対してお礼を言えるようになってきた。 	<p>通常の学級での変容</p> <ul style="list-style-type: none"> * 自己認識が進んだことで、友だちとの自然なやりとりが増えた。